

# 恵友

医療法人恵友会

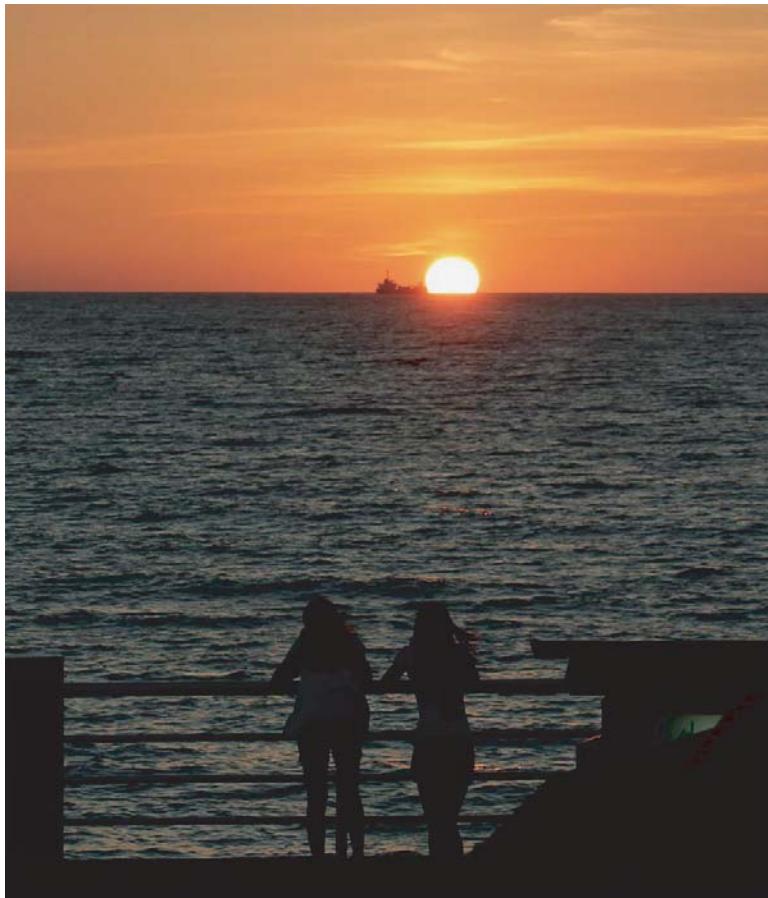
霧ヶ丘つだ病院

ほっとホーム霧ヶ丘

恵友会デイサービスセンター

訪問看護・ヘルパー

ケアプラスステーション



## 今号の恵友

- ・ COPD患者さんのQOL質問票(CAT)  
日本語版の論文が発表されました
- ・ 2011 Journal of Physical therapy  
Science優秀論文賞受賞
- ・ 周防正行監督 映画『終の信託』の  
医学・看護監修
- ・ 第26回非侵襲的換気療法研究会を  
小倉で開催しました
- ・ 日本動脈硬化学会主催の  
市民公開講座にて院長講演
- ・ 睡眠時無呼吸症候群  
—北九州下関睡眠呼吸障害研究会  
主催の市民公開講座を開催—
- ・ 良い睡眠の本質を見直すために  
—睡眠の日 市民公開講座を全国で開催—
- ・ 慢性呼吸器疾患看護認定看護師が  
誕生しました
- ・ バスは行く！  
～第27回 武雄温泉の旅～
- ・ 事務部長交代のお知らせ

### 『終夏の夕暮れ(北九州市若松にて)』



夕日が雲を鮮やかなグラデーションに染め、哀愁漂う夏の海を見つめる二人。猛暑が過ぎ去り、心地良い風を感じながら二人はこの空間で何を語り合っているのでしょうか。

《撮影 井田 章博》

## COPD患者さんのQOL質問票(CAT)

日本語版の論文が発表されました

### 『Development of the Japanese version of the COPD Assessment Test』 Respiratory Investigation, Volume 50, Issue 2, Pages 34-39

Tohru Tsuda, Rika Suematsu, Kumie Kamohara, Mariko Kurose, Ichiro Arakawa, Ryusuke Tomioka, Tomotaka Kawayama, Tomoaki Hoshino, Hisamichi Aizawa

COPD患者さんの症状は簡単には表しにくかったのですが、QOL(生活の質)が8項目の質問で簡単にわかるようになりました。この日本語版の検証が当院などでなされました。

これはもともと久留米大学の故 相澤 久道教授の進められた業績であり、東北大學の一ノ瀬 正和教授がそのジャーナルの冒頭で、相澤教授の最後のお仕事として紹介されています。

私もこのお仕事に関わった一人として、このQOL質問票が患者さんのお役に立てるように広めていこうと考えております。  
よろしくお願い申し上げます。



故 相澤 久道教授と津田 徹

Respiratory Investigation  
Journal homepage: www.elsevier.com/locate/resinv  
Editorial  
New COPD assessment tool: The last work of Professor Aizawa

**Clinical obstructive pulmonary disease (COPD) is known to severely affect the patient's quality of life (QOL), and the disease has an increasing worldwide prevalence. The typical clinical features of COPD include chronic cough and sputum because of airway-flow limitation and lung hyperinflation. It is very important to assess the QOL for COPD patients in addition to determining the symptoms of disease severity and response to treatments such as pharmacotherapy and rehabilitation.**

A COPD-specific QOL questionnaire, the St. George Respiratory Questionnaire (SGRQ), is the most widely used tool for assessing the QOL of COPD patients. However, because the SGRQ consists of 4 domains with 50 questionnaire items, a lot of time is required to complete the QOL questionnaire, making it difficult to use in the daily clinical COPD QOL assessment. The COPD Assessment Test (CAT) was designed to assess and quantify the impact of COPD symptoms on patients by using a simple questionnaire consisting of 10 questions about symptoms such as cough, sputum production, and dyspnea, as well as daily activities of the patient. In this issue, Aizawa et al. in Japan reported the reliability of the Japanese version of the CAT [1]. Similar to the SGRQ, the CAT is a shorter version of the QOL test that can quickly and accurately assess the health status of Japanese COPD patients. Similar to the SGRQ, the CAT measures the physical, emotional, and social domains of the economic impact of the disease and is a shorter amount of time; thus, this assessment method might be very useful for COPD management, especially for general practitioners.

**REFERENCES**

[1] Tsuda T, Imanishi K, Katsuhara K, et al. Development of the Japanese version of the COPD assessment test. Respir Investig 2011;50:34-39.

[2] Kikuyama T, Minokata Y, Matsuura K, et al. Validation of symptom-based COPD questionnaires in Japanese subjects. Respiratory 2011;83:343-348.

Department of Respiratory Medicine, Tottori University Graduate School of Medicine, Japan

一ノ瀬教授の Editorial

### 2011年 Journal of Physical therapy Science 優秀論文賞受賞

### 『Factors that Impact Anxiety and Depression in Patients with chronic Obstructive Pulmonary Disease』

J Phys Ther Sci, 23 : 927-931, 2011.

Rumi Kaneda, Hideaki Senju, Asuka Iguchi, Yoshika Hayashi, Shoko Iwai, Toru Tsuda, Hiroki Ozawa, Sumihisa Honda

当院の金田理学療法士の研究論文が、2011年理学療法科学会の優秀論文賞に選ばれました！この論文は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の千住 秀明教授のご指導のもと、COPD患者さんの不安と鬱に影響を及ぼす要因を検討したものです。

この喜びを糧に今後も呼吸リハビリテーションの発展と普及にお力添えできるよう努力して参りたいと存じます。



理学療法士  
金田 瑞美

# 周防 正行監督 映画『終の信託』の医学・看護監修

津田 徹

産業医科大学呼吸器内科学の迎 寛教授より「周防正行監督が気管支喘息の患者さんを題材にした新しい映画を作るので、協力していただきたい。」との連絡を受けました。

口ヶ地である旧九州労災病院は、私の父が初代内科部長をしており、私も小学生時代まで過ごした場所であり何かの御縁を感じながらお引き受けいたしました。

東京医科大学の瀬戸口教授が医学総監修。私も脚本の細部のチェックをいたしました。時代設定は1996年頃から2000年頃、その頃の喘息のガイドラインを見直し吸入ステロイドの重要性をセリフの中に入れてもらうなど、いたしました。

医師は産業医大と私とで、ローテーションを決めて医療監修、看護師は当院から毎日派遣し、昨年の10月末より11月の中旬まで北九州口ヶの監修にあたりました。長い時は朝5時まで口ヶにお付き合いしました。

周防監督の医療シーンに対する考え方は厳しく、全てを本物に見せることを優先させたいとのリクエストに応え、口ヶに先立ち、周防監督・草刈民代御夫妻が当院へ来院。実際の喘息患者さんを相手に聴診の方法を説明、実際の映画シーンに登場するアンビューバックの使用方法、心マッサージなどの実演を行いました。当院の一木医師と仲島看護師は、このため、映画内の救急外来の蘇生シーンに登場しています。

○終の信託 公式サイト：[www.tsuino-shintaku.jp/](http://www.tsuino-shintaku.jp/)

○配役：草刈民代（呼吸器内科医）、役所広司（重症喘息患者）、浅野忠信（脳神経外科医）大沢たかお（検察官）

○あらすじ：呼吸器内科医・折井綾乃と18年にわたって担当医を務めた重度の喘息患者・江木秦三との信託である「最期のときは、長引かせないでほしい」により、患者を安楽死させた疑いで検察庁に呼ばれる。 原作：朔立木 実在の事件を元に描いた小説

10月27日封切りです！



津田院長はじめ、院内スタッフによる医療・看護の説明や指導等を行いました

## 第26回非侵襲的換気療法研究会を小倉で開催しました

＜当番世話人：津田 徹＞

6月16日、北九州小倉にて非侵襲的換気療法（NPPV）研究会を開催し、雨天にも関わらず全国から170名を超える医療関係者が足を運んでくださいました。

NPPVとは慢性呼吸不全の患者さんに鼻のマスクを使って行う人工呼吸です。以前は気管の中に管を入れて人工呼吸を行っていたのですが、患者さんに負担のかからない方法ができるようになりました。今回は睡眠中のNPPV管理について、フランスのジョセフフーリ工大学からPepin先生をお招きしてご講演いただきました。井本看護師は「慢性呼吸器疾患認定看護師のNPPVへの取り組み」という演題で発表いたしました。



## 日本動脈硬化学会主催の市民公開講座にて院長講演

『健康寿命を延ばすために！  
～今日からできる心臓病と脳卒中の予防と対策～』  
2012年7月20日 ヒルトン福岡シーサイドにて

座長：北 徹（神戸市立医療センター中央市民病院）  
居石 克夫（国立病院機構  
福岡東医療センター研究教育部）

第1部 講演会  
「動脈硬化と脳心血管病の相関関係を概説」  
齋藤 康（千葉大学）  
「脳心血管病予防の具体的方法～運動からのアプローチ～」  
田中 宏暁（福岡大学スポーツ科学部）  
「動脈硬化性疾患にならないための食事」  
荒牧 麻子（(株)ダイトコミュニケーションズ）  
「タバコと老化」  
津田 徹（霧ヶ丘つだ病院）

第2部 パネルディスカッション  
「今日からできる脳・心血管病予防」

ゲスト：西城 秀樹



シーサイド福岡にて心臓病と脳卒中の予防・対策に関する市民公開講座が開催されました。各分野の専門家を講師としてお招きし、病気の仕組みや運動・食事面からの予防等をご講演いただきました。また、ゲストには歌手の西城秀樹さんを迎えて、ご自身が二度患った脳梗塞の体験談や克服までの変遷をお話いただきました。

会場では皆さん真剣に聞き入っており、このような身近に起こる病気に対する皆さんの健康意識の高さがうかがえました。

# 睡眠時無呼吸症候群

－北九州下関睡眠呼吸障害研究会主催の市民公開講座を開催－



昨年好評をいただきました北九州芸術劇場での市民公開講座を、今年も睡眠時無呼吸症候群をテーマに開催いたしました！北九州で活躍する睡眠医療専門の先生方をお招きし、睡眠時のイビキ・無呼吸が身体に与える悪影響や併発する生活習慣病との関連リスク・またその予防や治療方法など来場者の皆さん気がになっている点を中心と/orても充実した内容のお話だったと思います。

途中ラポール・ムジカのお二人による二胡とピアノの演奏もあり、皆さんの穏やかな表情がとても印象的でした。

今年は雨が降る足元の悪い中、昨年を大幅に上回る500名以上の方々にご来場いただき、雨でなければ会場定員700名をオーバーするのではないかと嬉しい心配もしました。

また、ご協力いただいた各メーカー・各病院の皆様にも心より感謝申し上げます。



## ★ ♪ 良い睡眠の本質を見直すために ★ ♪

－睡眠の日 市民公開講座が全国で開催される－

現代社会には睡眠を阻害する様々な要因があり、病気や事故の背景には睡眠障害が潜んでいることも明らかとなっていました。以前より、3月18日は World Sleep Day として世界規模での睡眠の日が制定されていますが、上記の社会状況から睡眠健康推進機構（精神・神経科学振興財団と日本睡眠学会が協力して立ち上げた団体）は、**3月18日「春の睡眠の日」・9月3日「秋の睡眠の日」**を制定、その前後一週間を睡眠健康週間として国民に向けて睡眠に関する正しい知識の普及・啓発活動を目的とした市民公開講座が全国7ヶ所（札幌・岩手・東京・名古屋・京都・福岡・沖縄）で開催されました。福岡会場でも多くの方々が来場し、津田院長も座長・演者としてナルコレプシーについてお話をしました。



# 慢性呼吸器疾患看護認定看護師が誕生しました

認定看護師制度は、日本看護協会が高度化・専門分化が進む現代の医療において、看護ケアの広がりと質の向上を目的に1997年より発足しました。その他にも専門看護師・認定看護管理者という資格があり、それぞれ水準の高い専門的知識と技術を要します。

認定看護師の資格取得のためには様々な要件をクリアし、連続した半年以上の教育課程を受けた後に認定試験を受け合格しなければなりません。

近年、タバコ病とも呼ばれるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の罹患者数が増えており、COPDにかかった芸能人がTV番組やCMで病気の恐ろしさを訴える場面も見受けられるようになりました。2010年には慢性呼吸器疾患看護認定制度も新たに追加され、現在では21項目の看護分野において認定看護師資格が定められています。

今年の7月、全国で57名の第一期慢性呼吸器疾患看護認定看護師が誕生し、当院からも井本看護師が認定試験に合格いたしました。

## 慢性呼吸器疾患看護認定看護師の役割

- ①患者さんの増悪期－安定期－終末期に至る長期療養過程における慢性疾患患者のQOL維持向上のために身体・心理・社会的問題の解決を支援すること。
- ②非可逆的換気障害をきたした肺の残存機能を維持向上させ、呼吸困難状況を緩和して生活者の視点に立ったADL拡大を目指した呼吸リハビリテーションを行うこと。
- ③急性増悪を予防するため、患者さんのセルフケア能力を高めるための指導・教育を行うこと。

当院のような慢性呼吸器疾患患者が入院の約90%以上を占める呼吸器専門病院にとって、よりプロフェッショナルな看護・チーム医療を提供するためには上記の役割を高い水準で実践することが求められます。今後も慢性呼吸器疾患看護認定看護師・呼吸療法認定士を中心にさらなる看護のレベルアップを図り、患者さんが今まで以上に安心できるケアを目指して参りたいと思います。

## 認定看護師として



福井大学の研修施設で660時間の講義・演習・実習を通して呼吸器疾患病態、治療の系統的・機能的理解の上に根ざした看護ケアの計画と実践を学んでまいりました。研修期間中、他病院のスタッフと過ごす時間は切磋琢磨しながら色々な刺激を受けることができ、勉学のみでなく人間的にも成長できたのではないかと感じます。

約8ヶ月ものあいだ病院を離れ学ばせていただくにあたり、院長・看護部長・事務部長はじめ多くの方々のご理解・ご支援・ご協力を賜りました。本当に心より感謝しています。

今後は認定看護師教育課程で学んできたことを患者さんやご家族・病院スタッフにお役立てし、患者さんのニーズ・個々のライフスタイルを見据えたコーディネイトや地域の呼吸器ケアの発展に貢献できるよう日々精進していきたいと思います。

井本 久紀



共に学んだ他病院のスタッフと

## 在宅酸素友の会「ひまわり」バスハイク報告 バスは行く！

第27回 ー武雄温泉の旅ー<sup>2012年5月9日 参加者：25名  
スタッフ：13名</sup>



例年以上の素晴らしい天候に恵まれ、新緑の清々しい風を感じながらのバスハイク。今回は1300年も前に開湯したという歴史ある温泉街、佐賀県は武雄温泉に行って参りました！

御船山楽園で自然に癒され、武雄センチュリーホテルの昼御膳と柔らかな温泉を堪能してきた皆さん☆帰りのお土産コーナーでは珍しい特産物に目を輝かせ、とても充実した旅行になったのではないでしょうか♪今回も久しぶりの患者さん・初めての患者さん・他病院の医療スタッフにも参加していただき、いつも以上に賑やかで私たち同行スタッフも嬉しい限りでした！次回の旅はどこへ向かうのか・・乞うご期待☆



在宅酸素プロバイダーの大同商会さんも毎回協力していただいてます



同行したスタッフもバス内でのゲームで盛り上がってます！



緑香る木漏れ日の中を歩いて森林浴を堪能しました♪



酸素ボンベを携帯しての入湯も可能ですよ☆



## 事務部長交代のお知らせ



相談役  
廣畠 正己

この度、平成24年7月24日で65歳を迎え、11年間勤めた事務部長職を辞すこととなりました。在職中は院長はじめ、職員の支えにより無事職務を遂行することができ、また患者様からは多くのことを学ばせていただきましたこと大変感謝いたしております。

これまでを振り返りますと、機能評価受審・病院の新築移転・地域での校区活動など様々な場面で人と人とのつながりを持つことができ、その全てが私の財産となりました。

今後は相談役として病院の発展に寄与して参りたいと思いますので、変わらぬご厚誼賜りますようお願い申し上げます。



事務部長  
松田 和人

この度、平成24年7月31日付で定年退職された廣畠正己前事務部長（現相談役）の後任として平成24年8月1日付で就任致しました。

偉大な先輩の後を継ぐ責任の重大さに身の震える思いですが、「呼吸器と睡眠の専門病院として、地域のかかりつけの内科病院として、予防から外来、入院、在宅まで安心して任せていただける」よう職責を果たしてまいりたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

## 外来担当のご案内

### 【外来担当表】

2012. 6. 1

下記の担当医は、都合により変更になる場合がございます。その場合は他の医師が診察いたしますのでご了承ください。

	午前（9:00～12:00） 受付は11:30まで（初診は11:00まで）	午後（14:00～17:00） 受付は16:30まで（初診は16:00まで）	（17:30～20:00） 受付は19:30まで
月	津田 徹 自見 勇郎（～10:30） 増井 太朗（10:30～）	一木 克之	
火	津田 徹 一木 克之 良永 優子（10:30～）	リウマチ外来 加茂 洋志 自見 勇郎	
水	午前外来休診		北島 裕子 [九大呼吸器科] 加藤 香織 廣澤 誠 [産医大]
木	津田 徹 良永 優子 佃屋 剛	リウマチ外来 加茂 洋志 自見 勇郎	一般内科・呼吸器外来 津田 徹（一木 克之） 一般内科・糖尿病 田中 誠一 [九州労災病院]  水曜日の夜間外来は再来患者さんのみの診療となります。 ただし、睡眠時無呼吸・禁煙外来の初診は18時半まで受け付けています。
金	津田 徹 一木 克之 加藤 香織（10:30～）	今岡 治樹 [久大1内科]	
土	自見 勇郎／徳山 晋 [隔週] 加藤 香織／今岡 治樹 [交替] 脳血管外来 石束 隆男 [第2土曜] 睡眠歯科外来 津田 紗子[月2回：予約制]		

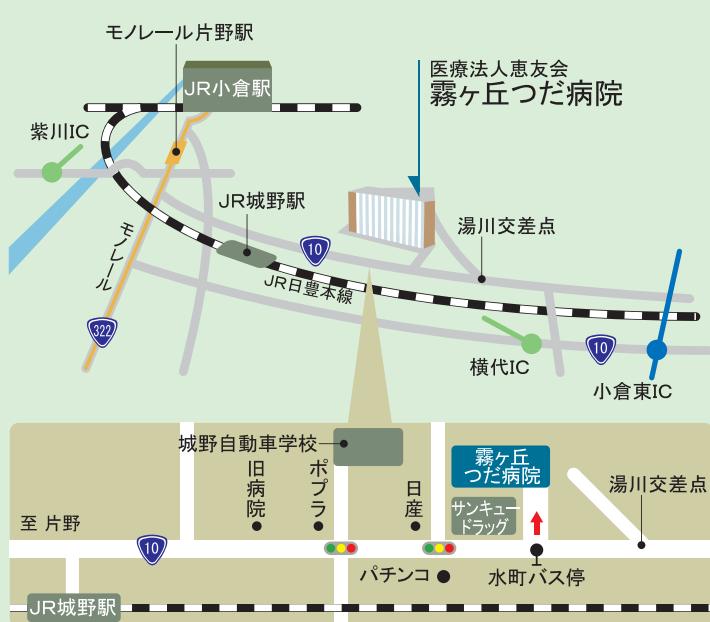
（注）院長の外来診療は、予約制となります。

※月に一度、最初の診察日には保険証を忘れずご持参ください。

※日曜、祝日、土曜午後、水曜午前は休診です。（その他の休診日については、その都度掲示致します）

※睡眠呼吸障害外来の初診は月～土の全診療時間で行っております。

※当院にお掛かりの方で喘息の発作その他緊急時には、夜間でも電話（952-1304）をかけてご来院ください。



医療法人恵友会  
霧ヶ丘つだ病院  
ほっとホーム霧ヶ丘  
恵友会デイサービスセンター  
訪問看護・ヘルパー・ケアプランステーション

発行日 : 2012年9月25日

編集発行人 : 井田 章博

発行所 : 医療法人恵友会

〒802-0052

北九州市小倉北区霧ヶ丘3-9-20

Tel. 093-921-0438 Fax. 093-921-5988

ホームページ : [www.k-you.or.jp](http://www.k-you.or.jp)

メール : [info@k-you.or.jp](mailto:info@k-you.or.jp)